

2/5

小学生大皿部門 最優秀賞
あんかけじゃがとん

メニューを考えたのは…

みどり台小3年
柴田 衣織さん



う米豚のそぼろあん
じゃがいもの
絶妙なハーモニー

じゃがいもが
ご飯にとっても
合う
ママに教えて
家でも食べたい
いつもの給食で
出てほしい



「私の好きなじゃがいもと枝豆が入っています。枝豆を使うので栄養もあり、色もカラフルになります。自分でも作っておいしくできたけど、調理員さんの作った給食もとてもおいしかったです！」

2/19

小学生カップ部門 最優秀賞
野菜たっぷりう米豚のクッパ



うまみが際立つ
じっくり煮込んだう米豚
栄養バランスも◎

ご飯が進む
最高のおかず
満足感が
すばらしい

メニューを考えたのは…

みどり台小4年 中村 美月さん

「アレルギー品目をなるべく使わず、みんなが食べやすいやさしい味にしました。私が考えた給食をみんなに食べてもらえるのがうれしいです。もし残されたら、給食を作っている人の気持ちもわかるかな」



給食レシピコンテスト
千産千消を学ぼう



市は千産の食材を千歳市民が消費する「千産千消」をテーマに、給食レシピコンテストを開催しました。市内の養豚場で育った「う米豚」を使用した給食レシピを募集し、小学生の部「大皿部門」と「カップ部門」で最優秀賞に選ばれたメニューが学校給食に登場。レシピを考えた児童のコメントと、給食を食べたクラスメイトたちの声を紹介します。

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。



MONTHLY PHOTO
マンスリーフォト
GRAPH **くらぶ**

2/2

特産品を堪能しながら市内をラン
千歳ウィンターマラニック



と RUN プロジェクト主催の「千歳ウィンターマラニック」が市内で開催され、30人のランナーが参加しました。マラニックとはマラソンとピクニックを掛け合わせた造語で、今回のコースは千歳駅をスタートし、市内の店舗や工場などのスポットに立ち寄りつつ、ゴールの総合福祉センターまでの約16kmを走破するというものです。各ランナーは、チェックポイントで特産品を堪能し、ランにグルメに充実した一日となりました。札幌市から参加し、ともにランニング歴7年ほどのMickeyさんとKaorinさんは、マラニックの魅力について、「途中のエイド（補給食）を食べられて楽しい。その土地のことも知れるし、ほかの参加者とも仲良くなれます」と紹介しています。

ハナノタネ **むつ美さん**

「最高のステージを見てもらえたと、自信を持って言えます。ステージからの景色が、今日出演した子どもたちの心にずっと残ってくれたらうれしいです。こんなにたくさん集まってくれたお客様に拍手！お客様も子どもたちも、みんなまる！」



駒大苫小牧高校吹奏楽部 "Shelties"
企画長 **黒田 日和さん**

「お客様に『駒澤サウンド』を感じていただき、私たちの元気とパワー、明るさをお届けできたらと思います。今日のステージを見た子どもたちに『こんな高校生になりたい』と思ってもらえたらうれしいです！」



人のうごき

《総人口》
97,148人 (-108)
男性 49,424人 (-35)
女性 47,724人 (-73)
《世帯》52,234世帯 (-43)

()内は、前月との比較です。

3-1 現在

空襲対策として迷彩塗装された司令部庁舎（現・200ビル）
Footnote.com 提供



千歳空襲
昭和20年7月15日、千歳基地近くの原始林に潜む電波探知機隊が、基地南方の海上に30数機の機影を確認。直ちに迎撃態勢がとられました。

百年物語
ちとせ空港

手づくりの着陸場から新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

Vol.23

終戦、そして再出発へ

敵機は艦載機グラマン F6Fヘルキャット。大戦中盤以降における米軍の主力機でした。やがてF6Fは二編隊に分かれると、そのうちの二隊約10機が基地上空に接近してきました。

海軍予備学生として千歳基地に赴任し、のちに警察大学校長となる武藤誠は、このときのことを著書「いくさ世の回想」において、次のように述べています。

「敵機が」ロケット弾を発射する直前と見たので指揮所の全員に『伏せ!!』と、命じようとしたその時、飛行機の真下にある高射砲が息づまるようななかにあった静寂を破って射撃の轟音を響かせた。(中略) 敵機は、す

ぐにこれを回避し、左側に、あたかも蝶が舞うかのように旋回して、飛び去っていった」

米軍は空襲の優先目標を「航空機」と「飛行場」に定めていましたが、千歳基地には実質的な攻撃を加えていません。その意図は、基地を無傷で手に入れ、自ら使用することにあったのです。

8月15日、玉音放送が流れ、迎えた終戦。日本の航空機は飛行を禁じられ、千歳基地も米軍の手に渡りました。

しかし、千歳の人々は諦めませんでした。必ず自分たちの空を取り戻すと決意し、再起の日を待ち続けました。

海軍航空基地編 おわり

2/2

第11回 笑顔にひらく花コンサート
出演者、観客一体の音楽エンターテインメント



市民有志団体「笑顔にひらく花実行委員会」が、北ガス文化ホールで「笑顔にひらく花コンサート」を開催しました。コンサートは、障がいの有無や年齢にかかわらず歌や踊りを楽しみ、出演者と観客も一体となって一つのステージを作るイベントです。

千歳のマジンガーとしておなじみのハナノタネむつ美さんや、市内小中学校の吹奏楽部、昨年12月に開催されたマーチングバンド全国大会で銀賞を受賞した駒大苫小牧高校吹奏楽部「Shelties」などが会場に集まった1000人以上の観客を歌と演奏で魅了しました。

第2部では、ステージマーチングショーが行われ、Sheltiesが熱のこもったマーチングを披露。「煌々と輝く世界へ」をテーマに厳しい練習を重ねて作り上げた大迫力のパフォーマンスに、満員の会場から大きな拍手が送られました。

最後は出演者全員がステージと客席に登場し、会場と一体で「愛は勝つ」を歌唱。コンサートを締めくくりました。